

令和6年6月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和6年6月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和6年6月26日（水） 13時30分～14時40分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

渡辺正範教育長、浅田公子委員、廣田公男委員、渡邊奈々子委員、川崎正男委員

3 説明のため出席した者

教育文化部長（滝沢直子）、教育文化部副参事（鈴木政広）、教育総務課長（玉村浩之）、
学校教育課長（藤田剛）、指導管理主事（渡邊正文）、生涯学習課長（樋口具範）、スポーツ振興課長（数藤貴光）、文化財課長（菅沼亘）、森の学校キョロロ副館長（小海修）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：浅田委員、廣田委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

② 報告第1号 「市立中学校のあり方についての提言」内容説明会開催について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

玉村教育総務課長、鈴木教育文化部副参事

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・補足資料で、R19からの推計が緩やかになっているが、何に基づいてこの推計ができたのか。

鈴木教育文化部副参事

- ・これは社人研（国立社会保障・人口問題研究所）が出した数字で、女性の5歳刻みの数字である。それに基づいてコーホート法というやり方で算出している。令和5年までの過去5年間分を遡って、5歳刻みの年齢の減少率を平均して出して、それに出生率の1.37を乗じて出している。1.37一定で出しているので、緩やかなカーブになってしまう。

廣田委員

- ・これを見ると、あと20年ぐらいは統合しなくてもよい感じがする。

鈴木教育文化部副参事

- ・この数字の中には、特別支援学級に行く子どもの数も含まれている。この中から、実際6～7%ぐらい特別支援学級に行くので、この数字はもう少し減ることとなる。

玉村教育総務課長

- ・昨年のあり方の提言を受けたとき、令和5年が市全体で1200人、そのうち市内の学校に通っている中学生が1,050人であった。それが12年後、市全体で620人、市内に通っている中学生が520人となり、半減する。これは変えようがない事実である。統合が必要か不要かというのは、いろいろ感じるころはあると思うが、子どもの数は緩やかに見込んでいるが、確実に減少していく。

鈴木教育文化部副参事

- ・子育てで支援を一生懸命やっているの、その効果がプラスに働けば何とか持ちこたえることとなる。

渡邊委員

- ・急激な人口減を皆さんが認識しないと、統合の話にはもっていきづらいと思う。この現実を丁寧にわかりやすく説明して理解してもらう必要があると感じた。

玉村教育総務課長

- ・説明会では、今回の資料を基に説明し、人口減の現実を理解してもらう。

渡辺教育長

- ・学区再編は数合わせではなく、「どういう学校を作ろう」とか「どういう教育を子どもたちに提供するか」などが大事な部分なので、ただ単に人数が減るからやらなければならないというような説明にならないようお願いする。

(以上の質疑の後了承した)

③ 報告第2号 十日町市教育委員会職員が加害者となる交通事故の発生について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

藤田学校教育課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・公務中か。

藤田学校教育課長

- ・公務中ではない、帰宅途中です。

川崎委員
・原因は。

藤田学校教育課長
・現在、警察が捜査中であり、公式な発表はまだである。

(以上の質疑の後了承した)

④ 報告第3号 十日町市美術展無鑑査招待作家の委嘱について

渡辺教育長
・事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長
・資料に基づき説明

(特に質疑なく了承した)

5 その他

(1) 7月の主な行事予定について
・資料に基づき説明

(2) 次回定例教育委員会の開催日時
・7月定例会 7月25日(木) 13時30分から開催することを確認した。
・8月定例会 8月28日(水) 13時30分から開催することを確認した。

以上で、14時40分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記